



日毎に秋が深まり、過ごしやすい季節となりました。学校の周りでは、あちらこちらで虫の音が聞こえてきます。学校では来月開催される「つくよう祭」に向けて、どの学部学年も本格的な練習が始まり、今から楽しみです。

避難所設置訓練

9月22日（金）～23日（土）に行われた防災宿泊学習は、高等部1年生、2年生が学校に宿泊しました。今回は、大きな地震が発生。学校までの通学路（ダムからの入り口と桂橋からの入り口）が土砂崩れにより封鎖。学校とその周辺地域が孤立したことを想定して、一晩学校に泊まる学習をしました。高等部の教員だけではなく、小学部、中学部の教員も参加しました。

小学部、中学部の教員は、宿泊する生徒のための避難所を設置しました。「情報整理」「生活物資」「ライフライン」「食料・給水」「救護・衛生」「受付・案内」の組織を急遽立ち上げ、リーダーの指示で物資を運び入れたり、バリケードを設置したりする訓練も行いました。

訓練を見ていた防災アドバイザーからは、「先生たちのきびきびした行動。しっかりとイメージを持ち、訓練に臨んでますね。」と評価をいただきました。

また地域の方も参加していただき、防災に関して一緒に考える機会となりました。（渡邊）



防災宿泊学習

初めての防災宿泊学習にあたり、高等部の事前学習ではどんな自然災害があるのか、災害時どのように行動すればよいかなど学んできました。当日15:25に緊急地震速報が流れ、いよいよ訓練の始まりとなりましたが、皆落ち着いて机の下に避難、待機することができました。その後体育館へ移動し、避難所設営を行いました。これから何ができるんだろうと期待にワクワクしながらも、地域の方や教員と協力して段ボールを組み立て、立派な避難所が完成しました！



夕食は水やお湯を注ぐだけでご飯になるアルファー米とレトルトカレー！非常食とは思えないおいしさに皆びっくりしていました。夜には、ヘッドライトやランタンを持って暗い廊下を歩く暗闇体験を行いました。9時半には消灯、薄いウレタンマットに毛布2枚だけの寝床で心配していましたが、強い雨音も何のその、あっという間に皆深い寝息をたてていました。翌日は相模原市危機管理局の方々を講師に防災体験学習とご家庭のご協力のもと引き取り訓練を行いました。学校と家庭と地域、そして関連機関が協力し合って実施した防災宿泊学習、今回の経験を活かして災害時に備えていきたいと思えます。（福田）

初めての校内宿泊体験

避難訓練

9月13日（水）に、避難訓練を実施しました。今回は”地震”を想定した訓練です。日頃から月1回のシェイクアウト訓練（まず低く、頭を守り、動かない）をしていることもあり、児童生徒たちは緊急地震速報が鳴ると、素早く机の下に隠れることができました。その後グラウンドへの避難指示が出ると、教員の指示をよく聞き、「おかしも」を守って避難することができました。その後、バスターミナルに移動し起震車の体験をしました。今までに実際に起きた、東日本大震災や熊本地震と同じ震度の揺れを感じ、改めて地震の怖さを体感しました。いつ起こるかわからない地震。自分の身を守る行動をしっかりと身に付けてほしいと思います。（舟生）



相模原高校との交流

9月19日、今年も相模原高校吹奏楽部との交流会が催されました。大型のトラックにたくさんの楽器を積み込み、総勢63名の生徒さんたちが来校してくれました。また本校児童生徒の他に地域の小学校の児童も参加しました。指揮者体験では、小学部から高等部までたくさんの児童生徒が、大勢の演奏者を前に堂々と指揮棒を振ることができていました。演奏鑑賞は、本校からのリクエスト曲で「恋」や「情熱大陸のテーマ」などを演奏していただきました。また、アンコールでは相模原高校のオリジナル楽曲の「KENSOU」を演奏していただき、目の前で迫力ある演奏を聴き、感動した児童生徒はとてにこにこした表情をしていました。あっという間の交流会でしたが、本校児童生徒にとっては“音を楽しむ”ことができ、とても有意義な時間でした。ぜひ来年も来ていただけることを願っています。（田中）



交通安全教室

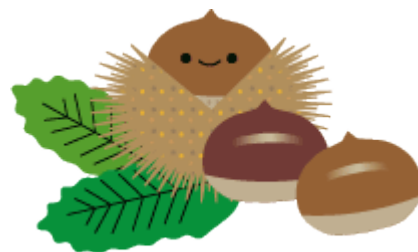
10月2日に交通安全教室が行われました。相模原市役所から指導員の方が来てくださり、小中学部は安全な道路の歩き方を、高等部は安全な歩き方と自転車の乗り方について教えていただきました。模擬信号機のある交差点では、信号が青に変わったときは自分でも左右を確認してから横断すること、信号機のない横断歩道は右→左→右を見て安全確認してから手を挙げてわたることを教えていただきました。そして、実際に一人ひとりが横断の練習をする時には、指導員さんに教えていただいたことを思い出しながら、しっかり取り組むことができていました。

（影山）



栗ひろい

本校では、地域との交流の一貫として、地域の方の畑の作物の収穫をさせていただいています。今回は、秋の味覚「栗」です。各学部、学年で都合の良い時間帯に伺わせていただき、「栗ひろい」を楽しみました。イガに入っている栗をそーっと触ってみたり、「大きな栗がたくさんとれたよ！」と、学校に帰ってきてから、いろいろな人に見せて回っている生徒もいました。このような体験を提供して下さる地域の方々に感謝し、今後も交流を深めていきたいと思えます。（大内）



パロちゃん

防災宿泊学習でさびしくなったり不安になったりする生徒たちのために、神奈川県産業振興課より、ロボット・セラピー「パロ」をレンタルしました。姿は、タテゴトアザラシの赤



ちゃん、人工知能の働きによって、人間の五感を刺激する豊かな感情表現や動物らしい行動をし児童生徒たちの心を癒しています。

休み時間になると、支援スペースにパロに会いに児童生徒たちが集まってきます。「つぎ貸してください。」と話しかける児童生徒や『貸して』のサインで伝えてくる児童生徒。児童生徒同士のコミュニケーションにも役立っているようです。パロを抱き上げたり、なでたりすると「キューン」と鳴き、周りの子供たちだけでなく教員までも笑顔にしてしまう不思議なロボットです。

（渡邊）

お知らせ

10月28日(土)13:30~15:00に「第2回アニメーションダンス・チャレンジ教室」が開催されます。6月に1回目が行われ、とても好評だった企画です。参加申し込みの締切りは過ぎましたが、当日参加でも大丈夫です！プロのダンサーと音楽に合わせて楽しく踊ってみましょう！